

# 自転車事故

# ゼロを目指して



子どもから高齢者までみんなが手軽に使える便利で身近な交通手段の自転車。しかし、利用者の増加とともに増えているのが、自転車による交通事故です。子どもたちを自転車事故から守ろうと活動をしている地域の方々や、悲惨な事故をなくそうと活動している団体があります。今回は、北区内で行われている自転車交通安全啓発活動について紹介します。

## 地域で守る子どもの安全

健康志向やエコブームなどで自転車利用者が増えるとともに、自転車と歩行者や、自転車同士の衝突事故も増加傾向にあり、自動車との事故も依然として後を絶ちません。こうした事故から子どもたちを守ろうと、北区内ではさまざまな利用ルールやマナーの啓発が行われています。

「動き出す前に右を見て左を見て、もう一度右を見ようね」「みんないっしょは見守られているけれど、自転車に乗ったら歩行者を守る立場になるんだよ」と、子どもたちに優しく話すのは、地域



子どもたちの目線で優しくルールを伝えています



左右だけでなく後ろも確認して出発だね

の交通安全実践会の皆さんです。

小学校で開催している自転車交通安全教室では、事故をなくし、いつまでも子どもたちの笑顔がふれているようにとの思いを込め、実践会の皆さんが、子どもたちに自転車利用の正しいルールとマナーを教えています。「楽しくルールを学んだよ」「家に帰ったら家族にも教えるんだ」と、子どもたちは笑顔で話します。皆さんの思いはしっかりと伝わっているようです。

新入学児童と地域の方々との触れ合いを通じて、自転車利用のルールや交通安全について学び、決まりを守る大切さを伝えている小学校もあります。

「大人たちが子どもたちをどんな思いで見守っているか感じてもらいたい、ルールや約束を守る大切さに気付いてもらうことが重要なんです」と地域の方は話します。

「いつも見守ってくれてありがとう。これからもよろしくね」。毎年春に、子どもたちの声が響きます。



地域の方と子どもたちがルールを守る約束をしました